

第63回道小オホーツク・北見大会 …… 佐藤 和俊 大会実行委員会事務局長

オホーツク・北見大会実行委員会事務局長 北見市立東小学校の佐藤です。

全道各地区校長会の皆様には、本大会について様々なご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

今回の報告の前段は、現在作成中の大会要項の中で、オホーツク・北見大会 吉田実行委員長が述べているあいさつ文から一部引用して申し上げます。

以下、引用させていただきます。

この度は、昨年度末から流行した新型コロナウイルス感染防止の対応で、皆様を北見市でお迎えすることができなくなり、オホーツク管内校長会としましては誠に残念な思いであります。本大会にはおよそ2年の歳月をかけて準備に取り組んできたところですが、全道から600名近い会員の皆様をお迎えする際のリスクを想定するとやむを得ない決断でありました。一方で、オホーツク管内校長会がひとつになって組織的に取り組めたことや、新しい教育を創り出そうと高まった機運は何物にも代えがたいものであり、この機会をいただけたことに改めて感謝申し上げます。

本大会としては、前年度開催の胆振・苫小牧大会の成果を受け継ぎ、紙上交流をもって新しい研究のスタートにふさわしい足跡を残すべく取組を進めています。

全道各地区から寄せられた提言をもとに、紙上討議で深められた成果が全道の各学校に活かされていくことを願いますとともに、次年度の第64回道小石狩・千歳大会につながる道標を明確に示すことに傾注してまいります。

以上が実行委員長あいさつからの引用です。

さて、私からは現在の状況について報告いたします。

まず、先ほども触れました「大会要項」ですが、明日、9月1日に印刷が完了する予定です。その後速やかに印刷業者から各地区校長会の市町村連絡責任者の学校に直送されます。連絡責任者の校長先生におかれましては、大変お手数とは存じますが、要項が到着次第、各市町村の全会員に配布願います。全道の会員の皆様には、今年度の研究に対するご意見等を、ぜひ道小研修部までお寄せ下さいますようお願いいたします。詳しくは、道小研修部からの案内をご参照願います。なお、この大会要項につきましては、今後道小ホームページにも掲載されます。

次に、大会の反省・引継ぎについてです。

来月、実行委員会において研究大会の反省を行います。会同実施はできませんでしたが、これまでの取り組みや課題となる事項等を、次年度の石狩・千歳大会に少しでも参考になるように整理し、引き継ぎたいと存じます。

以上、大会実行委員会からの報告といたします。